

2021年1月21日

各位

会社名 室町ケミカル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 青木 淳一  
(コード番号: 4885 東証JASDAQ)  
問合せ先 取締役管理本部長 井内 聡  
(TEL. 0944-41-2131)

### 2021年5月期の業績予想について

2021年5月期(2020年6月1日～2021年5月31日)における当社の業績予想は以下のとおりであります。

【個別】

(単位: 百万円・%)

項目	決算期	2021年5月期 (予想)			2021年5月期 第2四半期累計期間 (実績)		2020年5月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高		4,786	100.0	▲9.4	2,482	100.0	5,280	100.0
営業利益		348	7.3	16.5	243	9.8	301	5.7
経常利益		301	6.3	10.8	219	8.8	278	5.3
当期(四半期)純利益		202	4.2	542.2	75	3.0	34	0.7
1株当たり 当期(四半期)純利益		74円33銭			30円57銭		17円16銭	
1株当たり配当金		15円00銭			—		3円00銭 (0円60銭)	

(注)1. 2020年5月期(実績)及び2021年5月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数(自己株式を除く)により算出しております。2021年5月期(予想)の1株当たり当期純利益は自己株式の処分予定株式数(970,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 2020年10月15日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。上記では2020年5月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)

ご注意:

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年1月21日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

純利益を算出しております。また、2020年5月期（実績）の1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した数値を（ ）内に記載しております。

3. 当社は2019年11月30日に子会社を清算終了しているため、2020年5月期は連結損益計算書を作成しておりますが、2021年5月期第2四半期累計期間及び2021年5月期は連結財務諸表を作成しておりません。よって、上表における2020年5月期（実績）は個別の数値を記載しておりますが、2021年5月期（予想）における対前期増減率は2020年5月期連結財務諸表の実績数値との比較によるものです。

なお、参考情報として、以下に2020年5月期連結損益計算書の実績数値を記載します。

【連結】 （単位：百万円、%）

	2020年5月期 (実績)	
		対売上 高比率
売上高	5,280	100.0
営業利益	299	5.7
経常利益	271	5.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	31	0.6
1株当たり 当期純利益	15円75銭	
1株当たり 配当金	3円00銭	

#### 【2021年5月期業績予想の前提条件】

当社は2019年11月30日に子会社を清算終了しているため、2020年5月期は連結損益計算書を作成しておりますが、2021年5月期第2四半期累計期間及び2021年5月期は連結財務諸表を作成しておりません。下記、「(1) 全体の見通し」及び「(2) 個別の前提条件」においては、2020年5月期の連結財務諸表との比較を行っております。

#### (1) 全体の見通し

当社は、医薬品原薬の製造・販売を主とする医薬品事業、スティックゼリーの健康食品の企画・製造を主とする健康食品事業、液体処理用製品の加工・販売を主とする化学品事業の3事業を行っております。

医薬品原薬・中間体市場は2013年度～2017年度の5年間で、3,660億円から4,300億円への成長を記録しており、2022年度には4,700億円に拡大すると予想されます。健康食品市場は、

#### ご注意：

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年1月21日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

2019年はインバウンドの失速や相次ぐ自然災害などが影響し、前年比0.2%減の1兆2,455億円となりましたが、整腸やスポーツ志向、免疫力向上など健康への関心は高まっており、今後も堅調に推移すると予想されます。国内の水処理市場については、すでに成熟化しているものの、堅調に推移しております。また、近年好調な半導体などの電子分野では、使用する薬品の高純度化が求められ、液体処理技術の需要が増すものとみられます。

2021年5月期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、国内外で経済活動の停滞が起きました。感染拡大の防止策を講じつつ、持ち直しの動きがみられるものの、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社の2021年5月期の業績予想は、売上高4,786百万円（前期比9.4%減）、営業利益348百万円（前期比16.5%増）、経常利益301百万円（前期比10.8%増）、当期純利益202百万円（前期比542.2%増）となる見込みです。

## (2) 個別の前提条件

当社は、2020年11月30日開催の臨時取締役会において、2021年5月期年度予算の修正を決議しており、本資料における2021年5月期の業績予想は、2020年6月から2020年10月までの実績値に、2020年11月から2021年5月までの予想値を加えたものとなっております。

### ① 売上高

売上高は、前期比9.4%減の4,786百万円を見込んでおります。

2020年11月以降の予想値については、現在の受注状況、顧客からヒアリングした購入計画や購入時期、過去の実績を勘案した数値を顧客毎に積み上げ、策定しております。セグメント別の業績予想は次の通りです。

#### [医薬品事業]

医薬品事業では、医薬品の有効成分である原薬を主に取り扱っております。海外原薬メーカー等から国内の製薬会社や医薬品商社の求める原薬を調達するほか、自社での原薬合成、原薬の異物除去や精製などの加工を行い販売しています。そのほか、医薬品や農薬の研究に使用されるラジオアイソトープ(注)1の輸入等も行っております。

2021年5月期の医薬品事業の売上高については、輸入原薬の分野において、原料変更の申請を行った原薬の承認が当初予定していた時期より遅れたため、当期の納入量の減少が見込まれております。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりアレルギー用市販薬の売上が減少しており、当該薬向けの原薬の売上が減少する見込みです（前期比54百万円減）。

一方、原薬の加工分野において、異物除去案件が順調に推移しており、前期比70百万円の増加見込みです。また、前期に引き続き農薬業界向けのラジオアイソトープの販売が好調に推移しており、前期実績を上回る見込みです。

以上の結果、2021年5月期の医薬品事業の売上高は2,440百万円（前期比4.6%減）を見

#### ご注意：

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年1月21日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

込んでおります。

#### [健康食品事業]

健康食品事業では、スティックゼリータイプの健康食品の企画・製造を行っており、通信販売や店舗販売などで健康食品を販売する会社へ納入しております。また、TV 通販を通じて自社製品の販売も行っております。

2021年5月期の健康食品事業の売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、店舗販売を行っている顧客向けの製品は当初の計画を下回っておりますが、通信販売を行っている顧客向けの製品は好調に推移しております。TV 通販にて販売している自社製品の売上についても、前期比 19 百万円の増加見込みです。

新規案件については、海外向け製品を中心に新製品販売に向けた動きが鈍化しており、当期の販売開始が見込めない案件も出ております。また、大口 OEM(注)2 ゼリーの販売終了により前期と比較して 212 百万円の売上が減少、錠剤関連製品の製造終了により前期と比較して 96 百万円の売上が減少しております。

以上の結果、2021年5月期の健康食品事業の売上高は 704 百万円（前期比 35.5%減）を見込んでおります。

#### [化学品事業]

化学品事業では、純水(注)3 製造や液体の精製に使用されるイオン交換樹脂(注)4 や分離膜(注)5 の加工・販売等を行っております。国内外のイオン交換樹脂メーカーや分離膜メーカーから仕入れた製品を、必要に応じ加工し、化学品メーカーや商社へ販売しております。また、使用により性能が低下したイオン交換樹脂や分離膜をユーザーから回収し、当社で再生処理も行っております。

2021年5月期の化学品事業の売上高については、商材ごとの増減はあるものの、概ね前期と同等と見込んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響で、加工分野の燃料電池向け製品において海外からの材料納入が滞り、当期の売上は半減する見込みです。一方、イオン交換樹脂の分野で、半導体製造に使用されている製品や医薬品製造に使用されている製品などの販売が好調に推移しております。

以上の結果、2021年5月期の化学品事業の売上高は 1,641 百万円（前期比 0.7%増）を見込んでおります。

(注)1 放射性同位元素。放射線を出す性質のある元素であり、化合物の追跡や分析に使用される。

(注)2 Original Equipment Manufacturing の略。発注元企業のブランド名で販売される製品を製造すること。

(注)3 不純物を含まない水

(注)4 イオン交換(物質中のイオンと溶液中のイオンを入れ替える)機能を持つ合成樹脂であり、純水の製造や排水中の重金属除去など様々な分野に使用される。

#### ご注意：

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年1月21日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

(注)5 細孔の空いた膜で、用途に合わせた孔径の膜を使用し濾過や濃縮などを行うことができる。

## ② 売上原価、売上総利益

売上原価につきましては、原材料費、製造経費及び仕入原価の積み上げにより算出しております。原材料費及び仕入原価は、過去実績から見込まれる商材区分毎の原材料費率及び仕入原価率と売上計画から算出しており、当期の原材料費及び仕入原価は 2,240 百万円（前期比 10.5%減）を見込んでおります。製造経費は、製造部門毎に該当製品の月次売上計画より月次単位の生産計画を立案し、変動を勘定科目毎に経費へ落とし込んでおります。製造経費の主なものは、人件費、減価償却費、外注加工費となっております。

人件費については、製造計画を勘案した各部門の人員計画を基に、給与等の見込みの積み上げにより算出しております。当期は健康食品事業における大口 OEM 製品の終売などにより、製造量の減少が見込まれており、人材派遣料が大幅に減少しております。また、前期に支給した期末賞与を当期は予定していないため、当期の人件費は 560 百万円（前期比 16.8%減）の見込みです。

減価償却費については、現在保有している固定資産の減価償却費に、取得予定の固定資産の減価償却費を加味して、月次で固定資産管理システムにより計算された値を用いております。なお、2020 年 5 月期に、医薬品事業の合成工場及び健康食品事業の錠剤製造設備において、2021 年 5 月期第 2 四半期に、健康食品事業のゼリー製造設備において減損損失を計上したため、当期の製造部門の減価償却費は 98 百万円（前期比 47.6%減）と大きく減少する見込みです。

外注加工費については、健康食品事業の錠剤製品の撤退や大口 OEM 製品の終売などにより、38 百万円（前期比 46.3%減）となる見込みです。

その他、各部門の定期メンテナンス及び定期的に交換が必要な部品等にかかる経費や売上計画に基づいた動力費、消耗品費などを月次単位で織り込んでおり、突発的に発生し得る経費についても、判明している範囲で経費に織り込んでおります。

以上の結果、2021 年 5 月期における売上原価は 3,170 百万円（前期比 14.2%減）、売上総利益は 1,615 百万円（前期比 1.8%増）を見込んでおります。

## ③ 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費についても、部門毎・勘定科目毎に作成した月次の経費計画の積み上げにより算出しております。販売費及び一般管理費の主なものは、人件費、手数料、旅費交通費となっております。

人件費については、製造経費同様、各部門の人員計画を基に、給与等の見込みの積み上げにより算出しております。人員増や採用見込みにより人件費は増加しておりますが、前期に支給した期末賞与を当期は予定していないため、当期の人件費は 790 百万円（前期比 6.5%減）の見込みです。手数料については監査報酬の増加などを見込み、91 百万円（前期比 15.1%

### ご注意：

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021 年 1 月 21 日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

増)としております。旅費交通費は主に営業活動に関するもので、各部門での計画を積み上げて算出してしております。現在のところ新型コロナウイルス感染症の影響により、海外出張は再開できておりませんが、今後海外出張が再開できる可能性を考慮し、当期の旅費交通費は62百万円(前期比29.6%増)を見込んでおります。

以上の結果、2021年5月期における販売費及び一般管理費は1,266百万円(前期比1.6%減)、営業利益は348百万円(前期比16.5%増)を見込んでおります。

#### ④ 営業外損益、経常利益

営業外収益は主に預金利息などの受取利息や保有株式の受取配当金のほか、現在予定されている助成金の支給を見込んでおります。営業外費用は、上場関連費用のほか、主に支払利息を借入・返済計画を基に月次での利息額を算出し見込んでおります。

以上の結果、2021年5月期における営業外収益は6百万円(前期比79.7%減)、営業外費用は53百万円(前期比11.2%減)、経常利益は301百万円(前期比10.8%増)を見込んでおります。

#### ⑤ 特別損益、当期純利益

特別利益として現在見込んでいるものは特にありません。特別損失としては、健康食品事業において、ゼリー製造設備の減損損失137百万円を計上しております。新型コロナウイルス感染症の影響による、売上減少、新規案件の獲得減少により、投資回収の可能性が低下したと判断したことによるものです。

法人税等の税金費用については、繰越欠損金に係る繰延税金資産の計上などにより、▲41百万円(前期は▲20百万円)を見込んでおります。

その結果、2021年5月期における当期純利益は202百万円(前期比542.2%増)を見込んでおります。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

#### ご注意：

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2021年1月21日の当社取締役会において決議された当社普通株式の募集及び売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なる場合があります。